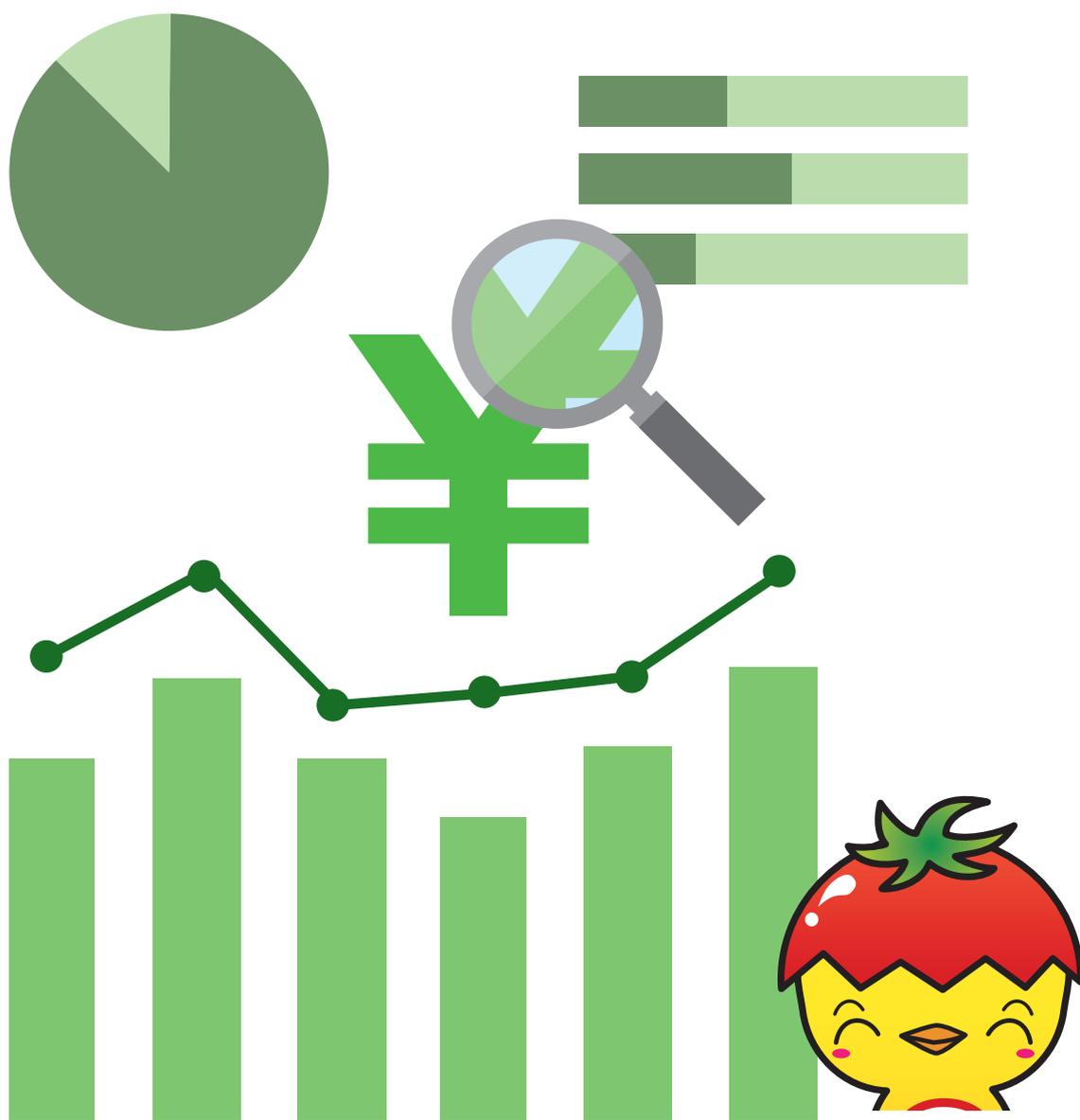


令和2年度 予算特集



旭市の財政を分かりやすく解説します

問い合わせ先
財政課財政班 (☎62-5316)

令和2年度当初予算 一般会計予算は過去最高の 379億4,000万円

予算とは1年間の収入(歳入)、支出(歳出)の計画のことです。

予算を見ればこの1年間、どのくらいの収入が見込めて、何にいくら使うのかが分かります。

旭市の会計には、一般会計と4つの特別会計と3つの企業会計があります。会計はお金の出し入れを行う財布のようなもので、それぞれの会計ごとに予算が組まれ、運営されています。予算総額は592億61万8千円で、内訳は一般会計が379億4,000万円、特別会計は4会計を合わせて186億2,300万円、企業会計は3会計を合わせて26億3,761万8千円です。



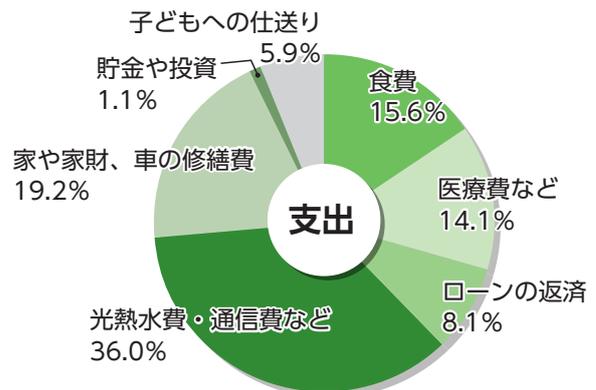
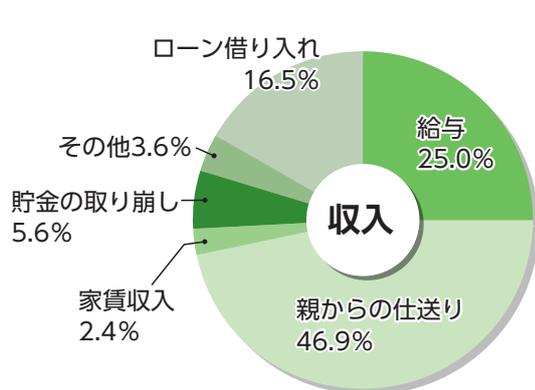
一般会計、特別会計、企業会計の3種類のお財布

一般会計		福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行うための会計	令和2年度予算	前年度予算	
			379億4,000万円	300億8,000万円	
特別会計		国民健康保険のように、保険料を徴収して特定の事業に充てている場合など、一般会計と区別する必要がある事業の会計	令和2年度予算	前年度予算	
			186億2,300万円	193億6,000万円	
特別会計	内訳	病院事業債管理	40億1,600万円	43億1,400万円	
		国民健康保険事業	事業勘定	85億7,800万円	84億9,000万円
			施設勘定	8,300万円	9,100万円
		後期高齢者医療	7億 100万円	6億2,900万円	
		介護保険事業	52億4,500万円	52億 600万円	
		下水道事業	(企業会計へ移行)	5億5,900万円	
		農業集落排水事業	(企業会計へ移行)	7,100万円	
企業会計		民間企業のように、利用料金などの収益で運営している事業の会計	令和2年度予算	前年度予算	
			26億3,761万8千円	16億7,413万7千円	
企業会計	内訳	水道事業	17億1,451万9千円	16億7,413万7千円	
		公共下水道事業	8億3,218万3千円	(特別会計から移行)	
		農業集落排水事業	9,091万6千円	(特別会計から移行)	

※今年度から下水道事業、農業集落排水事業が特別会計から企業会計へ移りました。

市の予算を家計に置き換えてみると

旭市の一般会計の予算額379億4,000万円を、年収にして552万円^{*}の家計に置き換えてみました。
^{*}平成30年国民生活基礎調査の1世帯当たりの平均所得金額552万円を参考に算出。

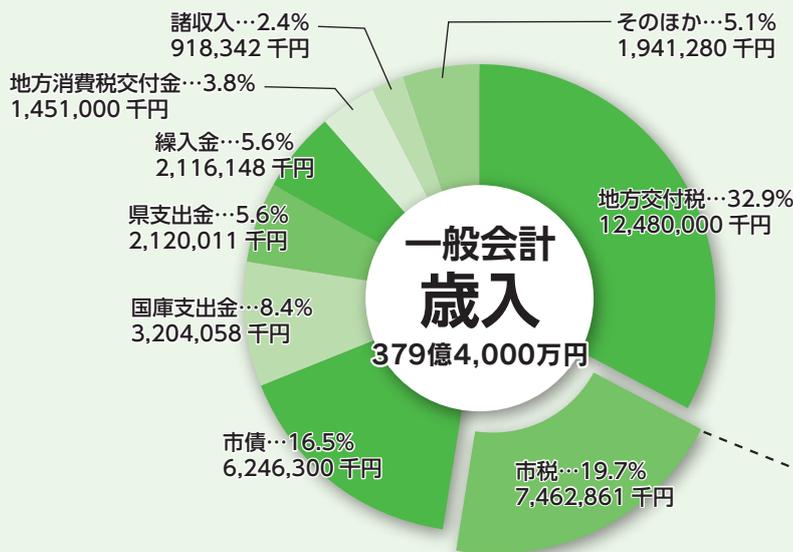


- ※1 人件費…市職員の給与や手当などを支払うための経費
- ※2 扶助費…医療に関する経費や、生活保護・児童手当の給付、私立保育園の運営補助などにかかる経費
- ※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済にかかる経費
- ※4 物件費…電気料金や消耗品の購入費、委託料など
- ※5 補助費等…各種団体に対する補助にかかる経費
- ※6 維持補修費・普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などにかかる経費
- ※7 繰出金…特別会計の歳入を補うための経費

歳入の内訳

一般会計の歳入の内訳を見ましょう

市税は74億6,286万1千円。主に法人市民税の税率改定の影響から、前年度と比べ9,131万6千円(1.2%)減額の見込みです。地方交付税は124億8千万円。そのうち普通交付税は76億8千万円で、前年度と比べ8千万円(1.1%)増額の見込みです。48億円で計上した特別交付税は、広域ごみ処理施設整備事業負担金に対する算入額の増額を見込み、前年度と比べ25億5千万円(113.3%)の増額としました。国庫支出金は32億405万8千円で、前年度と比べ2億2,098万5千円(7.4%)の増。県支出金は21億2,001万1千円で、前年度と比べ3億1,160万3千円(17.2%)の増としています。



市民1人当たりが
納める市税
114,000円

※1,000円未満四捨五入

市税予算額74億6,286万1千円÷
人口65,183人(R2.3.1現在)

市税の内訳



固定資産税
3,060,531千円



個人市民税
3,039,014千円

市たばこ税	490,363千円	軽自動車税	232,874千円
法人市民税	373,940千円	入湯税	9,094千円
都市計画税	257,045千円		

※都市計画税は、都市計画区域内(旭地域)の土地や建物に課税されています。

なぜ、市は借金をしているの？

学校や公園など、公共施設の整備には多額の費用が必要です。これら公共施設の整備に必要な費用を1年間の予算で賄ってしまうと、その1年、ほかの事業ができなくなってしまいます。

また学校や公園などの公共施設は長い期間使用するので、1年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに利用できることとなります。

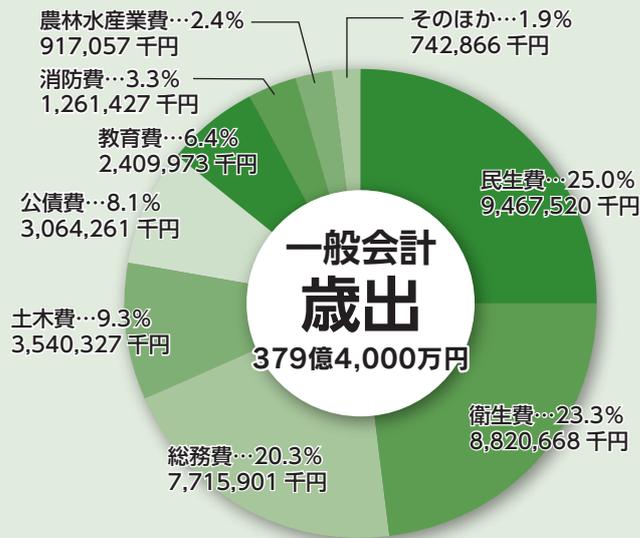
そのため市では市債を発行(借金)して、整備した年の市民の負担を小さくして、翌年以降に返済していきます。これにより施設を利用する全ての世代の市民に、整備費用を公平に負担してもらうことができるのです。



歳出の内訳

一般会計の歳出の内訳を見てみましょう

一般会計当初予算における目的別歳出では、民生費が最も多く全体の25.0%を占め子育て支援や福祉サービスなどに、続く衛生費は23.3%で市民の健康やごみ処理などの公衆衛生に活用されます。総務費は20.3%で庁舎管理やコミュニティバスの運行などに活用されます。土木費は全体の9.3%で道路や排水路の整備などに、市の借金の返済費である公債費は全体の8.1%となっています。教育費は6.4%で小中学校の改修などに活用されます。



市民1人当たり
に使われるお金
582,000円

※1,000円未満四捨五入

一般会計予算額379億4,000万円 ÷
人口65,183人 (R2.3.1現在)

市民1人当たりに使われるお金の内訳



民生費

145,200円



衛生費

135,300円



総務費

118,400円

土木費
公債費
教育費
消防費

54,300円
47,000円
37,000円
19,400円

農林水産業費
商工費
議会費
その他

14,100円
6,100円
3,100円
2,200円

消費税率と地方消費税率の引き上げ分は、社会保障関係経費に活用

消費税率(国・地方)が、平成26年4月1日に8%へ、令和元年10月1日には10%へ引き上げられました。これらの引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分は、高齢者、障害者、児童の福祉など社会保障施策の経費に活用することとしています。

●引き上げ分の地方消費税収入(地方消費税交付金)：7億4,100万円

●社会保障4経費、その他社会保障施策に要する経費：109億3,397万円

※社会保障4経費とは、年金、医療、介護の社会保障給付金や、少子化に対処するための施設に要する経費です。

令和2年度の主な事業

「旭市総合戦略」4つの基本目標に基づく事業

令和2年度当初予算の主な事業を「旭市総合戦略」の4つの基本目標ごとに紹介します。

(拡)…拡大事業

(新)…新規事業

1 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり

農水産業の振興、商工業の振興、観光振興のための事業など

観光資源創出プロモーション事業……………6,518千円

市の観光資源の魅力を全国へPRし、新たな観光資源の創出や観光事業者などと連携した、体験型観光の提案・実施を推進します。

観光イベント事業……………24,280千円

観光の振興と地域活性化のため、各種イベントの開催を支援します。

(拡)新規就農総合支援事業……………16,612千円

明日の農業を担う新規就農者に対し、農業次世代人材投資事業、親元就農チャレンジ支援金助成など、総合的な支援を行います。

水田農業構造改革推進事業……………107,181千円

水田農業経営の安定と発展のため、需要に即した米作りを推進します。食料自給率・食料自給力を維持向上するため、飼料用米などの戦略作物の栽培について各種の支援を行います。

園芸生産強化支援事業……………144,974千円

野菜などの安定生産や品質向上を目的に、生産施設や省



多くの人を訪れる七夕市民まつり

力機械、集出荷施設の整備などを支援します。

(拡)家畜防疫対策事業……………50,914千円

急性悪性家畜伝染病のまん延を防止するため、予防接種や検査の実施を支援し、安定した畜産物の生産・供給の確保や畜産の振興を進めます。

(拡)畜産環境フレッシュ事業……………3,575千円

畜産由来の臭気を軽減させるため、畜産農家の自主的な臭気対策が進むよう、家畜排せつ物の消臭効果のある飼料添加物や臭気分散効果のある資材の導入について助成し、その消臭効果の実証実験を行います。

農業基盤整備事業……………77,527千円

農業経営の安定や体質強化、農業生産力などを確保するため、農地の大区画ほ場整備と併せて、農業用排水路や農道の整備、農地の利用集積を進める県営土地改良事業を推進します。

2 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

子育て支援の充実、地域福祉の充実、学校教育や生涯学習充実のための事業など

(拡)感染症予防対策事業……………138,909千円

感染症に対する正しい知識の啓発や予防接種を実施することで感染症の拡大を防ぎます。

先天性風しん症候群の発生や風しんの感染拡大を防ぐため、風しん予防対策事業を実施します。

子育て世代包括支援事業……………6,944千円

妊娠・出産・子育てに関する各種の相談を通じて、妊産婦や乳幼児の健康の保持や増進に関する包括的な支援を行います。

(拡)福祉タクシー利用助成事業……………9,993千円

重度の身体障害者・知的障害者・精神障害者などが、通



子育てを支える放課後児童クラブ

院や会合などのためにタクシーを利用する場合に、その料金を助成します。

自立支援給付事業…………… 1,299,571千円

障害者の日常生活や社会生活を総合的に支援するため、各種福祉サービスの給付を行います。

子ども医療費助成事業…………… 251,798千円

子育て家庭への経済的な支援として、18歳までの子どもを対象に、医療にかかる費用を助成します。

出産祝金支給事業…………… 33,700千円

次代を担う子どもたちの健全育成と人口増加による市の活性化のため、市民の出産を奨励し祝福する祝金として、第2子10万円、第3子以降20万円を支給します。

乳幼児紙おむつ給付事業…………… 31,937千円

子育て家庭の経済的な負担を軽減し、安心して子どもを育てられる環境づくりのため、紙おむつ購入券を給付します。

(新)子育てのための施設等利用給付事業…… 19,916千円

子育て家庭の経済的な負担を軽減するため、市の確認を受けた認定こども園や保育所などを利用する、給付認定を受けた3歳児から5歳児の子どもの利用料などに対し、給付を行います。

(新)保育施設等給食費助成事業…………… 10,980千円

保護者の経済的な負担を軽減するため、民間の保育施設などに対し、3歳児から5歳児の子どもの主食費を助成します。第3子以降の子どもの副食費についても助成します。

(新)病児保育事業…………… 3,606千円

子育て世帯の支援と児童福祉の向上を図るため、小学校3年生までの児童を対象に、病気回復期で集団保育・保護者の家庭保育のいずれも困難な児童に対し、保育士のほか看護師などによる一時保育を行います。

(新)幼稚園施設等利用給付事業…………… 35,736千円

保護者の経済的な負担を軽減し、幼児教育の充実や振興を図るため、私立幼稚園に通園する満3歳児から5歳児の子どもの入園料・保育料や、第3子以降の子どもの給食費

などに対し給付を行います。

放課後児童クラブ運営事業…………… 135,595千円

児童の健全な育成と事故防止のため、下校後に家庭で適切な保護を受けられない児童の生活指導を行います。

文化振興事業…………… 18,830千円

市民文化の向上を目的として、優れた芸術・文化に触れる場の提供や、市民の主体的な文化活動を支援します。

海上キャンプ場運営事業…………… 44,442千円

野外活動を通じた青少年の健全育成や、憩い、集いの場として活用するため、海上キャンプ場を管理運営します。

サッカー場整備事業…………… 14,905千円

旧飯岡中学校跡地にサッカー場を中心としたスポーツ施設を整備し、スポーツを通じた人々の交流を促進し、市の活性化を進めます。

3 ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

定住交流の促進、安全で快適な道路の整備、良好な生活環境形成のための事業など

定住促進奨励金交付事業…………… 33,000千円

市の人口増加と定住化のため、移住を目的に新たに旭市へ転入し、新築住宅の建設や購入、中古住宅の購入をした人に、移住費用の一部として30万から150万円を交付します。

環境衛生事務費…………… 5,116,828千円

市内の環境衛生の向上と保全のため、環境衛生施設(公衆便所)の維持管理を行います。東総3市で実施しているごみ処理広域化推進事業に係る負担金をはじめ、環境衛生に関連する団体へ負担金を交付し、住みよい住環境を確保します。

住宅用省エネルギー設備設置助成事業……… 12,600千円

家庭での地球温暖化対策を促進するため、住宅用省エネルギー設備などを設置した場合、その経費の一部を補助します。

東京オリンピック事前キャンプ地誘致等事業

…………… 28,042千円

2020年東京オリンピックの事前キャンプを誘致することで、世界に旭市をアピールし、スポーツによる地域の活性化や異文化交流を進めます。

急傾斜地崩壊対策事業…………… 23,880千円

急傾斜地崩壊危険区域や、土砂災害警戒区域などでの災害を未然に防止するため、必要な対策工事を計画的に行います。

道路新設改良事業…………… 334,590千円

幹線道路を計画的に整備するほか、生活関連道路の舗装新設や拡幅などを行います。

冠水対策排水整備事業…………… 80,300千円

道路冠水が多発する地域での適切な排水整備を行い、台風などによる浸水被害の解消を進めます。

旭中央病院アクセス道整備事業…………… 308,900千円

旭中央病院周辺道路の渋滞を解消し、地域間の連携を強化するため、アクセス道路を整備します。

飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業…………… 412,292千円

地域経済の活性化や地域間交流のため、国道126号から主要地方道銚子旭線を結ぶ道路を整備します。

南堀之内バイパス整備事業…………… 110,550千円

地域経済を活性化し生活基盤を充実させるため、国道126号から主要地方道大栄・栗源・干潟線までを結ぶ幹線道路を整備します。

(拡)住宅・建築物耐震化推進事業…………… 4,709千円

地震発生時の倒壊による被害防止のため、危険なブロック塀などの撤去費用の一部を補助します。戸建て住宅の耐震診断・耐震改修の費用を補助し、耐震化を促進します。

住宅リフォーム補助事業…………… 20,000千円

居住環境の向上と市内経済の活性化を目的に、市民が市内施工業者を利用して行ったリフォームに対し補助します。

(新)被災住宅修繕支援事業…………… 208,600千円

昨年発生した台風第15号・19号、10月25日の大雨による被災住宅の屋根や外壁などの修繕工事に対し、その費用の一部を補助します。

4 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

震災からの復興、防災力の強化、行政経営推進のための事業など

新庁舎建設事業…………… 4,007,434千円

行政機能の集約による市民の利便性向上と、防災拠点機能の強化を進めるため、新庁舎を建設します。

防災対策整備事業…………… 16,154千円

安全で災害に強いまちづくりを推進するため、防災体制の強化や充実を進めます。

「がんばろう！旭」復興支援事業…………… 8,770千円

さまざまな交流の活性化とコミュニティーの再生を進めるため、各種団体が行う復興事業に対し補助などを行います。

ふるさと応援寄附推進事業…………… 30,475千円



今年度完成予定の新庁舎(イメージ)

市の魅力を発信し、旭市を応援しようとする人からのふるさと応援寄附を財源に各種事業を推進することで、活力あるまちづくりを進めます。寄付者へは地元産品を返礼品として贈呈し、知名度の向上と産業の活性化を進めます。

コミュニティバス等運行事業…………… 50,561千円

高齢者などの移動手段を確保し、積極的な社会参加や公共交通の充実を進めるため、コミュニティバスを運行します。

デマンド交通運行事業…………… 21,652千円

バス停まで移動が困難な人の移動手段を確保し、積極的な社会参加や公共交通の充実を進めるため、デマンド交通を運行します。

消防車両整備事業…………… 38,560千円

老朽化した消防署の救急自動車を更新し、消防力を強化します。

災害救助費…………… 12,000千円

昨年発生した台風第15号・19号、10月25日の大雨による被災住宅に対し、応急に必要な救助活動を行います。

(新)地域密着型サービス拠点等整備事業…………… 162,844千円

住み慣れた地域での生活を支えるサービスを提供する、地域密着型サービス拠点などの整備を行う事業者に、補助金を交付します。

震災復興・津波避難道路整備事業…………… 765,224千円

東日本大震災で津波被害を受けた地域の避難道路の整備や、被災地域復興のための重要路線を整備します。

1から4の全てに関連する事業

生涯活躍のまち形成事業…………… 517,830千円

人口減少と少子高齢化に歯止めをかけるため、国の推進する「生涯活躍のまち」構想に基づき、旭中央病院から連携拠点である季楽里あさひを構想エリアとして、元気な高齢者を中心とする都市住民の誘致と、雇用の創出による若年世代の流出抑制、流入促進を実現し、市全体の活性化を進めます。

このページを抜き取って利用してください。